

# ScUtil2簡易操作マニュアル

## SC-827x編

作成日 2019/7/1

1) ScUtil2インストール	-----	P1
2) ScUtil2初期設定	-----	P2～P5
3) セットアップ情報	-----	P6～P8
4) メンテナンス情報	-----	P9～P11

# 1) ScUtil2インストール

- ScUtil2はWindows上で動作します。

## Windowsパソコンの条件

- ・Pentium200MHz以上(推奨-Pentium II 550MHz以上)
- ・メモリ最低128MB以上(推奨256MB)、ディスプレイ解像度VGA(800×600)以上
- ・ハードディスクに20MB以上の空き容量が必要

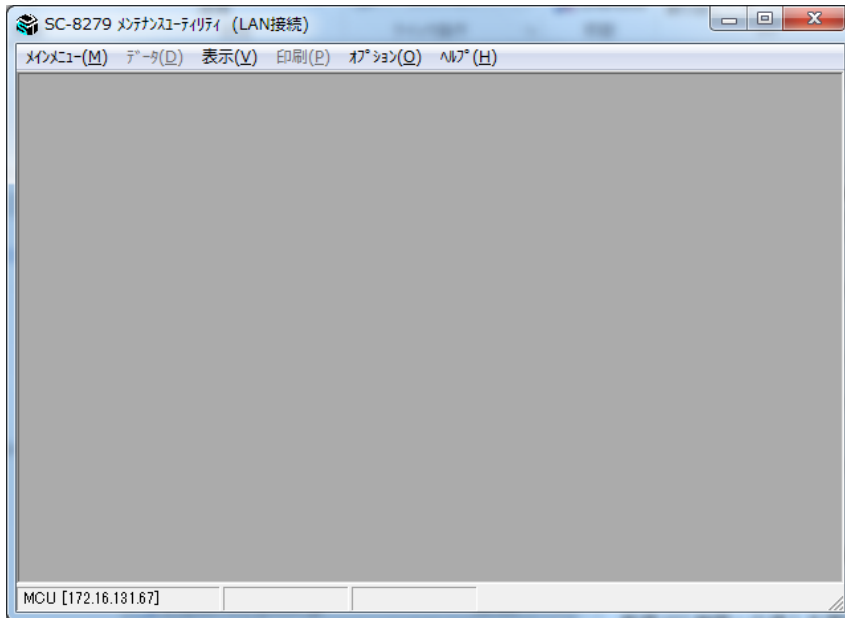
## (対応OS)

- ・Windows 7 Professional SP1 x86 (32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows 7 Enterprise SP1 x86 (32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows 7 Ultimate SP1 x86 (32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows 10 Pro x86 (32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows 10 Enterprise x86 (32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows Server 2008 Standard Edition SP2 x86(32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2 x86(32ビット版), x64 (64ビット版)
- ・Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1(64ビット版)
- ・Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1(64ビット版)
- ・Windows Server 2012 Standard Edition (64ビット版)
- ・Windows Server 2012 R2 Standard Edition (64ビット版)
- ・Windows Server 2012 R2 Datacenter Edition (64ビット版)
- ・Windows Server 2016 Standard Edition (64ビット版)
- ・Windows Server 2016 Datacenter Edition (64ビット版)
- ・日本語環境のみのサポートとなります。
- ・64ビット版WindowsはWOW64での対応となります。
- ・全銀TCPをご使用の場合、TFTPの受信待ちを行ないますので  
Windowsのファイアウォールに受信設定または例外設定を行ないます。

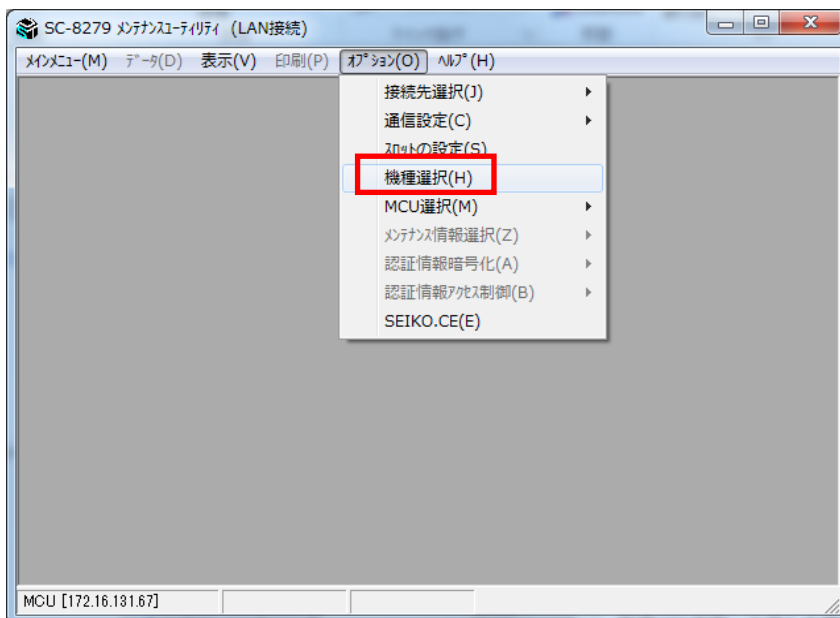
- 「SetupSc2.exe」を起動してインストールを行って下さい。

## 2) ScUtil2初期設定

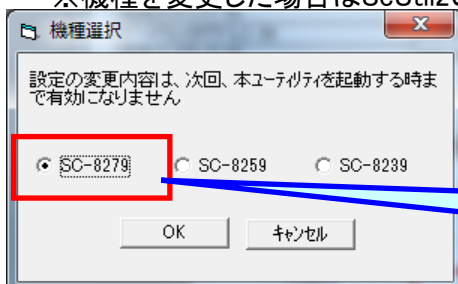
- ① ScUtil2を起動します。



- ② [オプション]→[機種選択]を選択します。



- ③ [SC-8279]を選択し、[OK]を押下します。  
※機種を変更した場合はScUtil2の再起動が必要となります。

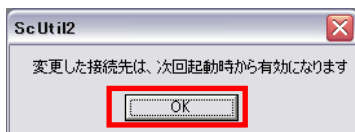


SC-8278に対しても  
利用可能です。

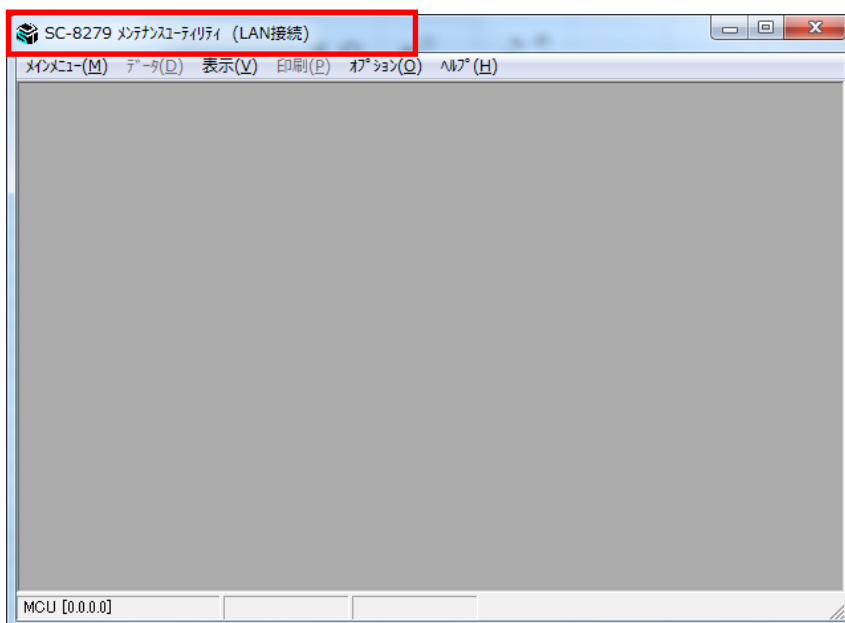
- ④ [オプション]→[接続先選択]→[LAN接続]を選択します。



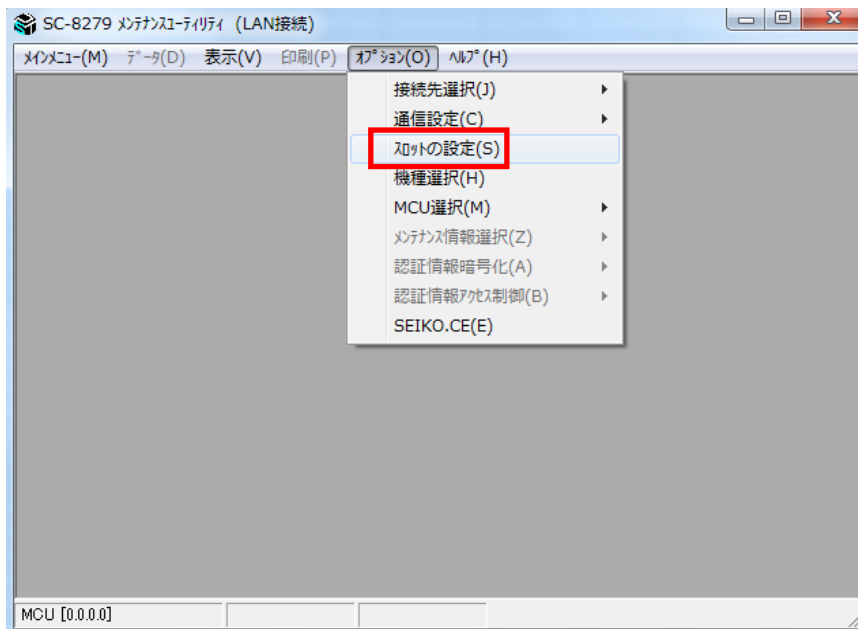
- ⑤ 接続先を変更すると以下の表示が出ますので、[OK]を押下し、ScUtil2を再起動します。



- ⑥ ScUtil2再起動後、SC-8279表示 と(LAN接続)表示を確認してください。  
(④でCOM接続を選択した場合は(COM接続)表示となります)



- ⑦ [オプション]→[スロットの設定]を選択します。

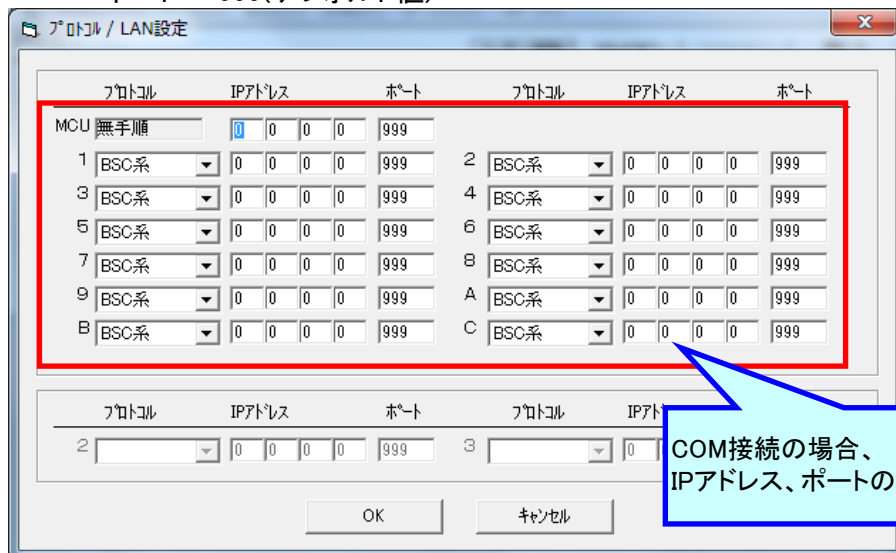


- ⑧ 本体にセットされているスロットにチェックを入れて[プロトコル/LAN設定]を選択します。



LAN経由でアクセスする場合  
予備基板へのアクセスは出来ません  
予備基板のチェックは不要です

- ⑨ [プロトコル],[IPアドレス],[ポート]を入力し、[OK]を押下します。  
 プロトコル…ご利用しているUSTのプロトコルを選択  
 (全銀BSCやJCA手順はBSC系を選択します)  
 IPアドレス…USTのIPアドレス  
 ポート…999(デフォルト値)

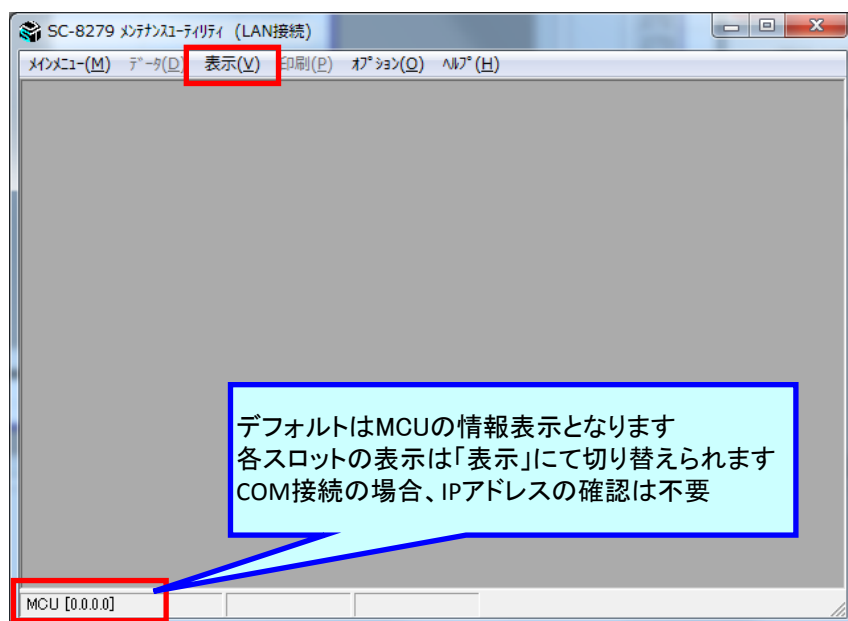


COM接続の場合、  
IPアドレス、ポートの入力は不要です

⑩ 該当のスロットにチェックが入っていることを確認し、[OK]を押下します。



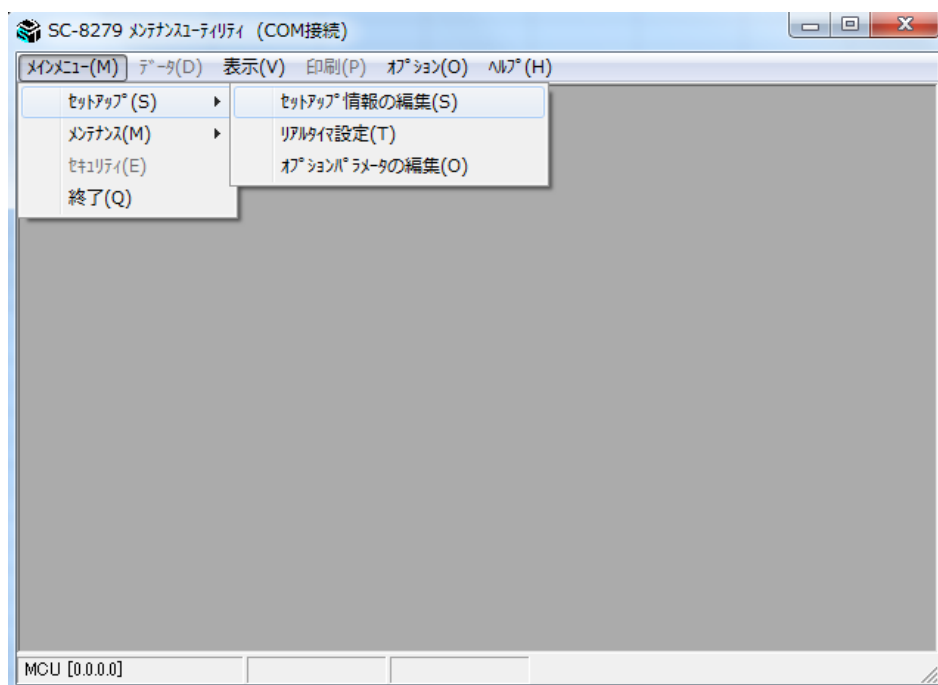
⑪ ⑨で入力したIPアドレスが表示されているか確認して下さい。



以上でScUtil2の初期設定は完了です。

### 3) セットアップ情報

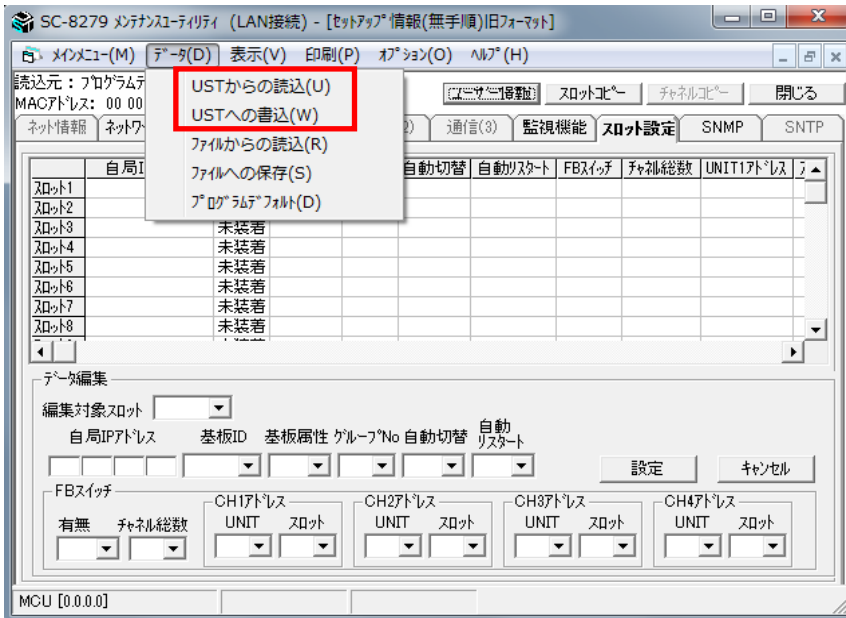
[メインメニュー]→[セットアップ]→[セットアップ情報の編集]を選択します。



※デフォルトはMCUの情報表示画面となります。  
各スロットの情報表示画面への切り替えは[表示]で行います。

## ■USTからの読込/書込

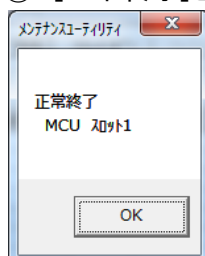
- ① [データ]→[USTからの読込]または[USTへの書込]を選択します。  
※ScUtil2内にUSTの設定内容がセットされていないと[USTへの書込]は選択できません。



- ② 該当のスロットにチェックが入っていることを確認し、[OK]を押下します。



- ③ [正常終了]と表示されていることを確認し、[OK]を押下します。



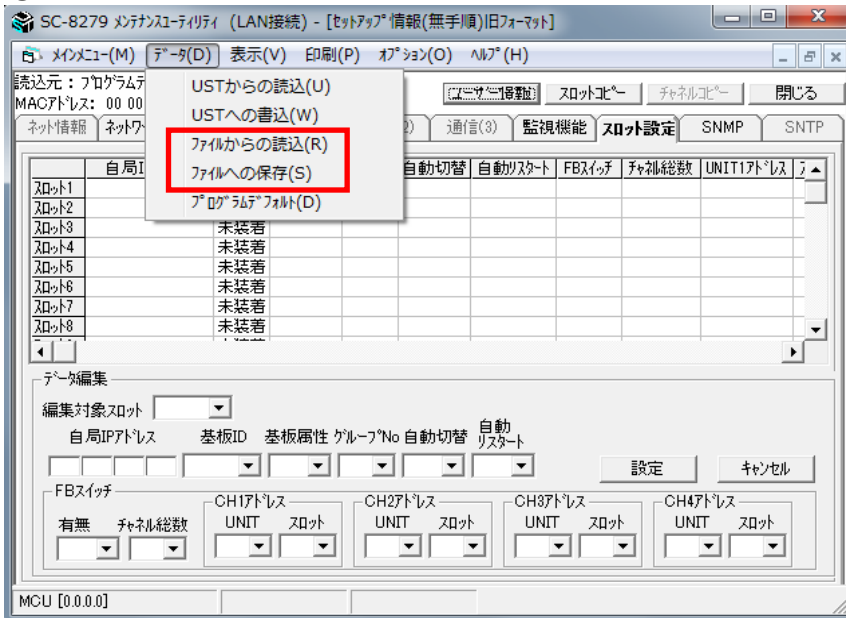
※「USTへの書込」を行った場合はUSTのOFF/ONを実施してください

以上でUSTからの読込/書込は完了です。

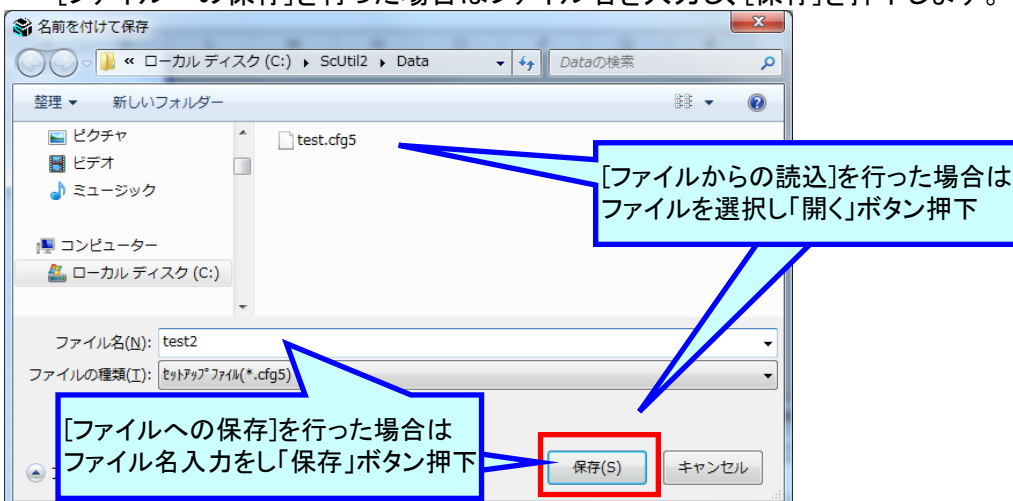


## ■ファイルからの読込/保存

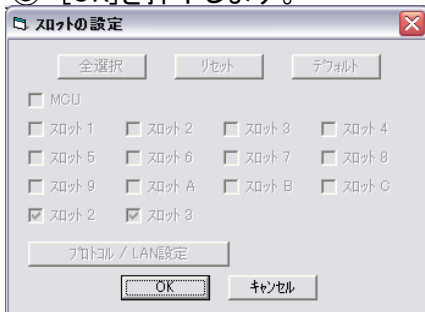
① [データ]→[ファイルからの読込]または[ファイルへの保存]を選択します。



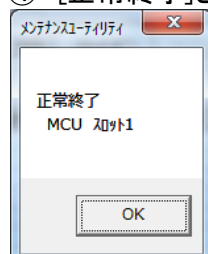
② [ファイルからの読込]を行った場合は任意のファイルを選択し、[開く]を押下します。  
[ファイルへの保存]を行った場合はファイル名を入力し、[保存]を押下します。



③ [OK]を押下します。



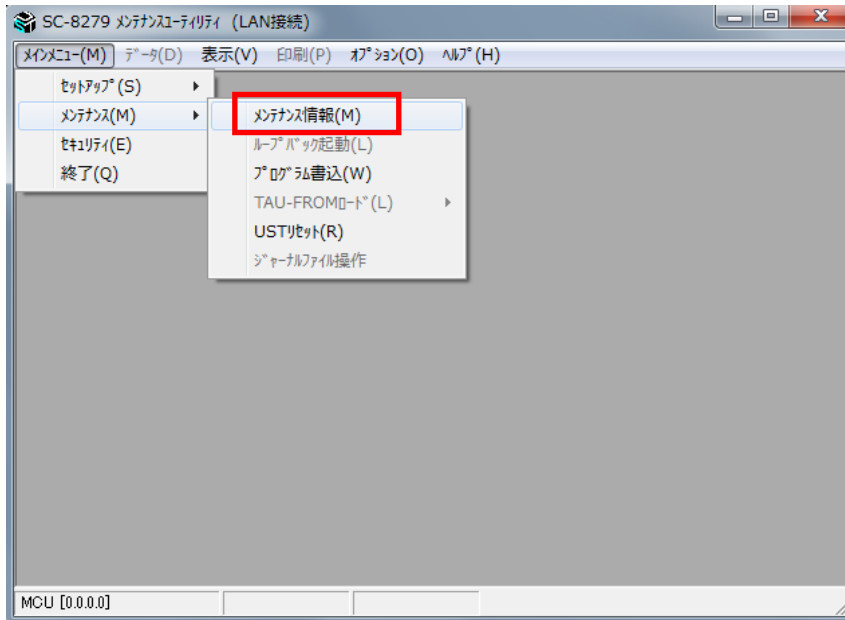
④ [正常終了]と表示されていることを確認し、[OK]を押下します。



以上でファイルからの読込/保存は完了です。

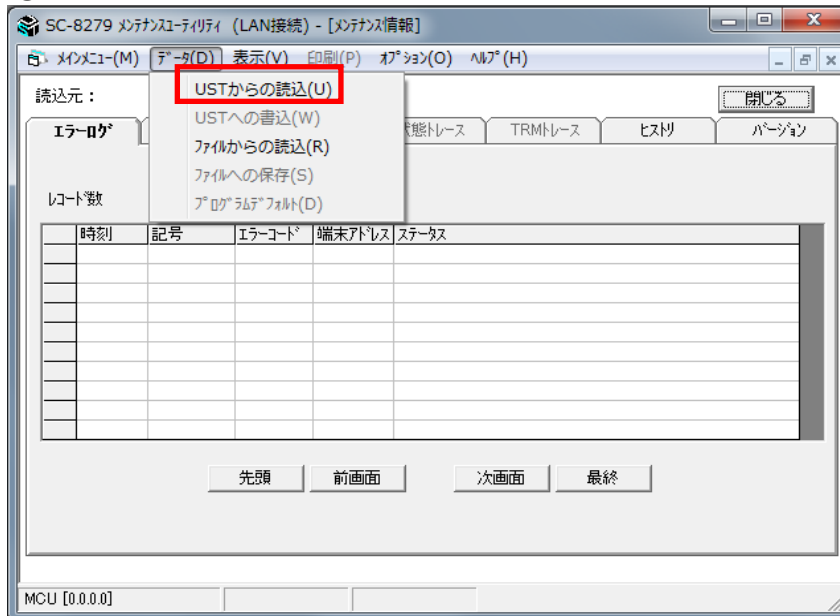
## 4) メンテナンス情報

[メインメニュー]→[メンテナンス]→[メンテナンス情報]を選択します。

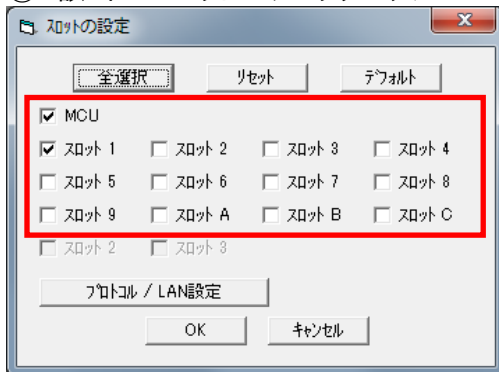


## ■USTからの読込

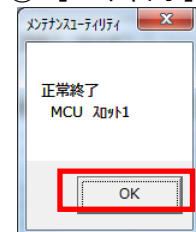
① [データ]→[USTからの読込]を選択します。



② 該当のスロットにチェックが入っていることを確認し、[OK]を押下します。



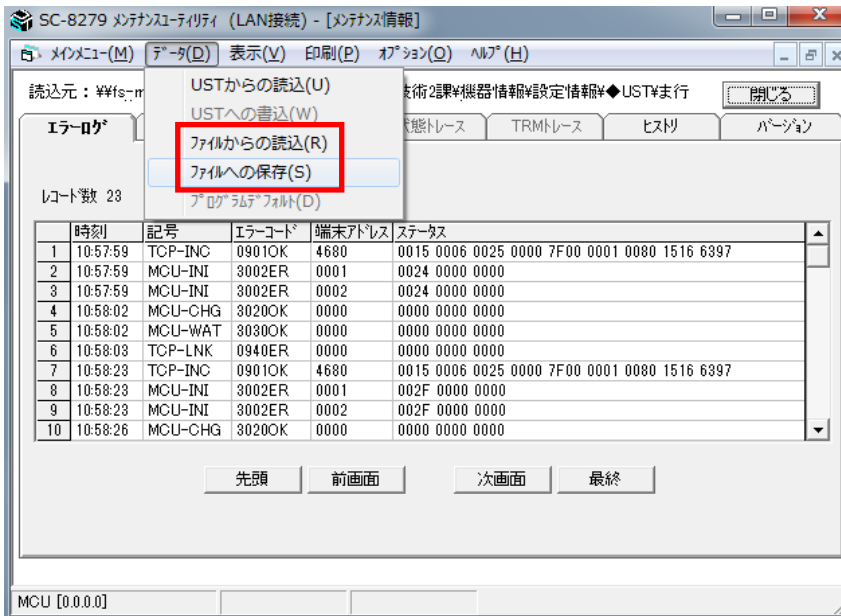
③ [正常終了]と表示されていることを確認し、[OK]を押下します。



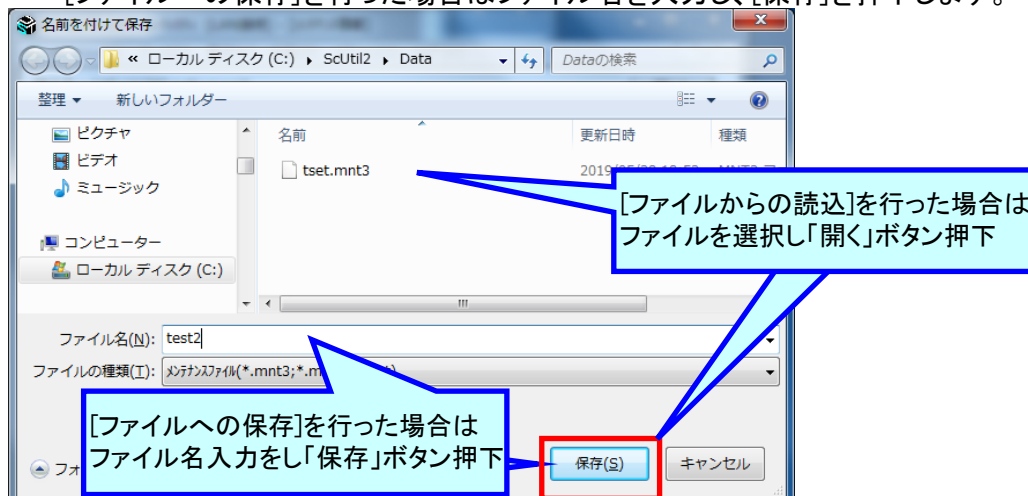
以上でUSTからの読込は完了です。

## ■ファイルからの読込/保存

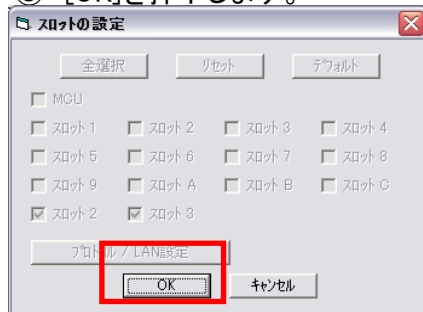
① [データ]→[ファイルからの読込]または[ファイルへの保存]を選択します。



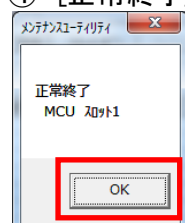
② [ファイルからの読込]を行った場合は任意のファイルを選択し、[開く]を押下します。  
[ファイルへの保存]を行った場合はファイル名を入力し、[保存]を押下します。



③ [OK]を押下します。



④ [正常終了]と表示されていることを確認し、[OK]を押下します。



以上でファイルからの読込/保存は完了です。